

留 学 報 告 書

記入日：2020年10月18日

氏名及び連絡先 E-mail アドレス	氏名：篠原柚葉
留学先国	タイ
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学人文学部英語学科 (英) Srinakharinwirot University Faculty of Humanity English Major
留学期間	2020年1月～2020年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2020年5月20日
明治大学卒業予定年月	2022年3月

留学費用項目	現地通貨(バーツ)	円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため。
宿舍費	月 15000×5 か月	約月 45000×5 か月円	コンドミニアムを借りました。
食費	月 10000×5 か月	約月 30000×5 か月円	外食やデリバリーを利用しました。
図書費	0	0円	授業では先生が用意したプリントを使いました。
学用品費	3000	約 9000 円	制服を買いました。(シャツ3枚、スカート、ボタンとバッジ)
教養娯楽費	20000	約 60000 円	大学の授業以外にタイ語学校に通っていました。
被服費	1000	約 3000 円	
医療費	0	0円	医療機関は利用しませんでした。
保険費		21635 円	海外旅行保険 12 か月に加入していましたが、途中帰国になったので差額が返金されました。
渡航旅費		148387 円	飛行機代 108090 円とタイ到着後のホテル代 40297 円です。

雑費		100000 円	帰国後 14 日間空港近くのホテルに滞在しなければいけませんでした。
その他（通信費スマホ）	6 か月で 1200	6 か月で約 4600 円	AIS の Sim カードを使っていました。
その他（通信費 Wifi）	月 640×5	約月 1920×5 円	Sim カードとは別に同じ AIS で契約しました。
その他（デポジット）	30000	約 90000 円	部屋の契約の時に払ったデポジットは、本来部屋の契約終了時に帰ってくるはずでした。帰国にともない途中で解約したため、返ってきませんでした。
合計	183400	821222 円	日本円で払ったものはタイバーツのほうに入れていません。

渡航関連

渡航経路	行き：羽田空港→スワンナプーム国際空港 帰り：スワンナプーム国際空港→羽田空港		
渡航費用	チケットの種類 往路 Thai Airways 64370 円 復路 ANA 43720 円 合計 108090 円		

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

滞在形態関連

種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
condominium	
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数： ）
住居を探した方法	
<p>先輩から話を聞いたり、知人から教えてもらったタイの物件のサイトを見て、候補を絞りました。現地到着後、日本語学科の先生が紹介してくれたバディの学生に付き添ってもらって内見に行き、契約しました。住む場所が決まっていないのは到着した時はとても不安でしたが、日本語学科の先生が親身に相談にのってくださったので安心できました。</p>	

感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）
hipflat(https://www.hipflat.co.th/ja)というサイトがおすすめです。家賃、立地、条件でソートかけて調べられるので使いやすかったです。サイトに地図が載っていないので、hipflat で見つけた物件位置を Googlemap で確認してました。掲載されている写真は綺麗なものばかりなので、気になった物件は直接見に行くといいと思います。タイには、夜になると真っ暗な路地も多いので、大きな道路に面している物件を探しましょう。Rama 9 や Thailand Culture Center がおすすめの駅です。バンコク中心部に近く、ショッピングモールなども多いので生活しやすいです。
現地情報
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input type="checkbox"/> 利用した；
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
人文学部日本語学科の先生が紹介してくれたバディ、同じタイミングで留学していた他大学の日本人学生、現地の日本人の知り合い、ASEAN センターの先生など周りに助けてくれる人はたくさんいました。学内で何かあれば ASEAN センターの先生に相談することができたので、安心して過ごすことができました。
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
コロナウイルスへの日本、タイの政府がどのような対応を取っているかについて、常に情報を集めるようにしていきまし。日本の外務省のホームページ、在タイ日本国大使館からのメールをチェックしていました。タイでは緊急事態宣言や夜間外出禁止令などが公表された次の日から適用されることがあったので、毎日新しい情報がないか注意してました。
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？
現地の AIS の Sim カードを利用していました。到着後空港で旅行者用の Sim カードを買ってしまい、数日間は少し割高の料金で使っていました。その後スマホのアプリで契約を更新しました。1 か月 20 ギガ使えて、6 か月で 1200 バーツ（約 4600 円）でした。格安で使いやすかったです。自分の部屋でパソコンを使う時用に Wifi も別で契約していました。定期的にマンションに AIS の人が来てセールスしていたので、そこで手続きをしました。1 か月 700 バーツでした。私は部屋にどうしても Wifi が欲しかったので契約しましたが、なくても大丈夫という人は契約しなくてもいいと思います。
現地での資金調達はどうに行いましたか？
先輩のアドバイスで SMBC の海外でも使えるデビットカードを留学用に作りました。これを使うと、海外の ATM から現金を引き落とすことができます。親に三井住友銀行の口座に仕送りを振り込んでもらい、タイの ATM から引き落としていました。毎回手数料約 200 バーツかかるので、限度額の 20000 バーツずつおろしていました。私がタイにいた時期はコロナウイルスの影響でレートの変動が激しかったので、毎日レートをチェックしていつ引き落とすか考えていました。
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・消臭スプレー：学校が連続である時は、制服にかけてました。 ・シャープペンシルの芯：意外に見つけるのが難しく、日本の製品を取り扱っている文房具店にしか置いてませんでした。 ・エコバック：7 月から日本がレジ袋有料化になったように、タイでもレジ袋有料のお店が大半なので便利だと思います。

進路について

進路

就職 進学 未定 その他：

進路決定の際に参考にした資料， 図書， 期間など

就職を選択した方は， 差し支えなければ内定先を教えてください。また， その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前， あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）

就職活動中・終了時に関わらず， 就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。

進学を選択した方は， 差し支えなければ進学先を教えてください。

進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備， 試験対策等）がありましたらお書きください。

その他を選択した方は， 留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

次のページもあります↓

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
— 単位（— 科目）	<input type="checkbox"/> 単位（— 科目） <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由：コロナウイルスの影響で明治大学のオンライン授業を受講できるようになったから。）
以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）	Thai for Communication
履修した授業科目名（日本語）	留学生向け初級タイ語
科目設置学部	人文学部
履修期間	2020年1月～4月
単位数	
本学での単位認定状況	— 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式、オンラインではZoom
授業時間数	1週間に210分が1回
担当教員	Attasit Boonsawat
授業内容	タイ語の初心者への留学生向けの講座です。文字・発音・会話・書き取りなど、タイ語の基礎を全般的に学ぶことができます。
試験・課題など	毎週小テストがありました。試験範囲は先週の授業内容でそれほど多くはありませんが、全てタイ語で書かなければいけないのでしっかり復習しておく必要があります。
感想を自由記入	先生はとても優しく、授業後に質問しに行くと質問箇所以外も教えてくれます。私は復習でわからなかったところをLINEで質問していました。受講していたのは、私を含めた日本人学生4人と他の国からの留学生4人でした。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	Japanese in Audio-visual Media
履修した授業科目名（日本語）	メディアの日本語
科目設置学部	人文学部日本語学科
履修期間	2020年1月～4月
単位数	
本学での単位認定状況	— 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式、オンライン移行後はレポートのみ
授業時間数	1週間に240分が1回
担当教員	Ruriko Suzuki
授業内容	日本語学科のタイ人学生向けの日本のメディアについての授業です。日本人の先生が日本のメディアについて教えています。メディアを通じたタイと日本の違いを学びました。タイの日系出版社の見学に行きました。

試験・課題など	毎回授業の内容について自分の意見を Google Classroom で提出しました。中間試験ではタイについて取り上げた日本のテレビ番組についてプレゼンしました。グループワークでシーナカリンウィロート大学について紹介した動画を制作しました。期末試験ではタイの社会問題についてタイと日本のニュースをもとにレポートを作成しました。
感想を自由記入	日本語上級者のタイ人学生が受ける授業だと感じました。授業ではタイ人の目線から日本のメディアについて考える機会が多く、興味深かったです。中間テスト直前にタイにある日系の出版社に見学に行きました。タイのフリーペーパー制作についてお話を聞きました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	Development of Drama
履修した授業科目名(日本語)	英語圏の演劇
科目設置学部	人文学部英語学科
履修期間	2020年1月~4月
単位数	
本学での単位認定状況	— 単位認定
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義形式、オンラインでは Zoom
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教員	William David Garry Mcfeeter
授業内容	「女の平和」「ヴェニス商人」「ガラスの動物園」の演劇のスク립トを英語で読み、表現方法や登場人物の心情について考える授業です。授業では毎回生徒がスク립トを音読し、先生が内容について解説します。
試験・課題など	中間試験では「女の平和」についていくつかの問いがあり、それに500語程度で解答しました。期末試験も形式は同じで、試験範囲は「ヴェニス商人」と「ガラスの動物園」でした。
感想を自由記入	この授業が一番苦労しました。スク립トには聞き慣れない単語や表現が出てくるので、かなりの英語力がないとスムーズに理解できません。私はまず物語のあらすじを日本語のサイトで調べて、それから英語で読んでいました。また、先生が体調を崩しやすく、休講が多かったです。授業内容を理解できていなかったため、テストはほとんど回答できませんでした。この授業はあまりおすすめしません。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	English for Journalism
履修した授業科目名(日本語)	ジャーナリズムのための英語
科目設置学部	人文学部英語学科
履修期間	2020年1月~4月
単位数	
本学での単位認定状況	— 単位認定
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義形式、オンラインでは Zoom
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	James Huggett

授業内容	ジャーナリズム、主に新聞について英語で学びます。新聞の形式や使われやすい単語に加えて、ジャーナリズムについてのリーディングやリスニングの練習もありました。後半には「スポットライト」という新聞記者についての映画を鑑賞もしました。
試験・課題など	試験形式は色々ありました。中間試験は、自分の体験を新聞記事のレポートにして提出しました。また、途中課題として生徒二人一組でインタビューをしました。期末試験ではグループで一つのニュース番組を作りました。オンライン授業だったので、自分で Zoom の録画機能を使って撮影し、データで提出しました。
感想を自由記入	非常におもしろい授業でした。授業で扱う英語の記事やエッセイは質が高いものが多く、リーディングの練習になりました。課題動画の「スポットライト」は日本版の Netflix にあったので、帰国後にもう一度見ました。ただ、先生が課題や試験の内容など重要な情報をサラッと言うので、注意しないとイケませんでした。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	English Note-taking and Summarizing
履修した授業科目名(日本語)	英語の要約筆記
科目設置学部	人文学部英語学科
履修期間	2020年1月~4月
単位数	
本学での単位認定状況	一 単位認定
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義形式、オンラインでは Zoom
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Jackson Benedicy Noah Foshay
授業内容	英語のリーディング、プレゼン、レポートの書き方について学ぶ授業です。一回の授業の前半で先生が説明をして、後半はグループワークをやりました。プレゼンや英語の文章の書き方の基本的なことが主な授業内容ですが、求められる英語力は高いと感じました。
試験・課題など	学期前半の大きな課題としてグループでのプレゼンがありました。グループでニュース番組の構成を考えて、他の生徒の前でそのニュース番組を実演しました。中間試験は筆記形式でした。授業内容についての選択問題と、読解問題がありました。難易度はそれほど高くありませんでした。期末試験はレポートの提出でした。自分が興味あることについて論文を調べて、決められた形式に沿って自分の意見をまとめました。
感想を自由記入	この授業が一番充実していました。提出した課題に対しての先生からのフィードバックが丁寧で、具体的なアドバイスがもらえました。きちんと勉強していれば、授業についていけなくなることはないと思います。

次のページもあります↓

留学に関するタイムチャート

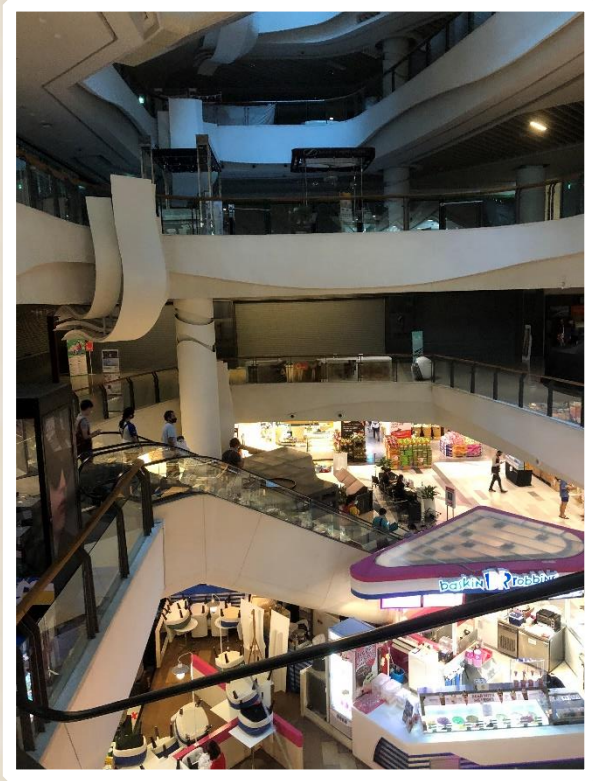
留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関して発生した事項を記入してください。（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2019年 1月～3月	情報コミュニケーション学部国際交流ニュージーランドに参加した。それをきっかけに、海外や留学を意識し始める。
4月～7月	学部間協定留学制度を知る。友達や先輩から話を聞いたり、説明会に参加して情報を集めた。その後、提出書類を作成した。
8月～9月	留学先大学から留学許可をもらい、健康診断書や先生の推薦状を準備する。タイ語が全く分からなかったので、タイ文字の練習を始める。
10月～12月	先輩からアドバイスをもらったり、親と相談しながら留学の準備を始める。hipflat というバンコクの物件のサイトや、留学先の大学からもらった物件のリストを参考に部屋の候補を探した。A型肝炎と破傷風の予防接種を受けた。ビザ申請のためにタイ大使館に行った。ビザの手続きには2週間ほどかかるので、余裕をもって始めた方がいい。
2020年 1月～3月	年明けすぐに出発した。一週間ほどホテルに滞在し、その間に物件の内見と契約を済ませた。日本語学科の先生にアドバイスをもらいながら、履修する科目を決めた。2月頭に親が、末に友達が遊びに来た。3月頭に中間試験があった。中旬にコロナウイルスの影響で、授業が全てオンライン授業になった。下旬にビザの更新をしに行った。
4月～7月	3月中旬から4月末まで、オンライン授業を受けた。期末試験やプレゼンは期末レポートになり、メールで先生に提出した。4月に明治大学から帰国命令が来た。タイや日本の感染状況が考慮して、5月中旬に帰国することを決めた。帰国後羽田空港近くのホテルに14日間待機し、札幌の実家に帰った。
8月～9月	明治大学が前期オンライン授業になったので、実家でオンライン授業を受講することができた。夏休み中はオンラインや対面のインターンシップに参加するなど、徐々に就職活動を始めた。
10月～12月	前期に引き続き実家でオンライン授業を受講しつつ、就職活動に向けた準備をしている。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>私が留学を意識するきっかけになったのは、一年生の2月に参加した情報コミュニケーション学部国際交流のニュージーランドプログラムです。旅行でしか行ったことなかった海外の地が身近に感じられ、学生のうちに海外生活を体験したいと思うようになりました。私は一度気になると実行せずにはいられない性格なので、留学を意識し始めた時に行くことはほとんど決めていました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>私の個人的な意見としては準備することはそれほどないと感じます。留学に行く前から語学や知識を身に付けておくことは、留学先に行っても役立ちます。しかし語学や知識といったもの、日本にいる時よりも現地にいる時のほうが飲み込みが早いです。それよりも留学のイメージを具体化することが大切だと思います。先輩の留学報告書を読んだり、Facebookなどでタイに留学している日本人学生の投稿を見たりすると留学後の生活や活動がイメージしやすくなるのではないのでしょうか。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>行ったことがない国だったというのが一つの理由です。私は第二外国語としてタイ語を履修していたり、タイの短期プログラムに参加したことがあるわけではありませんでした。馴染みがない国で不安もありましたが、その分得られるものも大きいだろうと思っていました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>大学はバンコクの中心、大都会の中にあります。キャンパスの中には広々としたグラウンドがあり、解放的です。晴れの日には太陽の光を遮るものがなくて暑いです。平日の朝には市場がやっていたり、休日には家族連れが遊びに来ていたり地元の人から好まれているのがわかります。学生はみんな気さくに話しかけてくれます。タイの学生同士も仲が良く、教室や食堂はいつも賑やかです。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>私はコンドミニアムを借りていました。駅から徒歩5分ほどで周りにお店もあり、便利でした。警備員や職員の方々もとても親切です。一度、鍵の不具合で部屋に入れなくなったことがありました。その時は警備員のおじさんが業者を呼んでくれ、一緒に鍵が開くまで待ってくれました。日本の建物と違い、不具合が多いところが気になりましたが、それもいい経験になったと感じています。</p>
<p>交友関係</p>	<p>タイ人の学生は面白くて優しい人ばかりです。私は人と話すのが得意な方ではありませんが、友達作りには苦労しませんでした。タイ語が話せない私にも英語で色々質問してくれたり、話を聞いてくれたり、とても親切にしてもらいました。週に一回授業が同じになるタイ人の学生は毎週「今週はどんなタイ語を学んだの?」と聞いてくれて、いつもテストされました。私が上手く話せた時はすごく喜んでくれるので、それが嬉しくて「タイ語をもっと勉強しよう」と思いました。</p>

<p>学習内容・勉強について</p>	<p>私が履修していた授業は少人数でのグループディスカッションやグループワークが多かったです。英語で意見交換をしたり、ロールプレイングゲームをしました。授業中は生徒と先生のやり取りが活発で、生徒が積極的に発言や質問をしていました。自信がもてないと中々発言しにくいですが、みんなの前で意見を言うと先生や他の生徒が丁寧に聞いてくれるので嬉しかったです。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>コロナウイルスの影響で後半の授業は全てオンラインになりました。試験やプレゼンテーションがレポートになり、それを期間中に先生に提出しました。量はそれほど多くありませんでした。普段の授業でも課題が多く出されることはなかったので、自分の興味あることの勉強や授業の復習に力を入れることができました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>私はタイ語が全く分からなかったので、大学の授業以外にもタイ語学校に通っていました。1対1で先生が発音を教えてくれるので、会話の練習になりました。また、現地で知り合ったインターンシップをしている日本人の学生の紹介で、短いドキュメンタリー動画を作る活動をしていました。短期間ではありましたが、タイで働く日本人の方々に会うことができて楽しかったです。</p>
<p>ある平日のスケジュール</p>	<p>7時：起床、7時半：朝食、8時：出発、9時：授業、12時半：昼食、14時：タイ語学校、16時：買い物、17時：帰宅、19時：夕食、20時：課題と復習、21時半：入浴、22時：自由時間、23時：就寝</p>
<p>ある休日のスケジュール</p>	<p>8時：起床、9時：朝食、10時：掃除と洗濯、11時：課題と復習、12時：デリバリーで昼食、14時：近所のカフェでまったり、16時：買い物、18時：帰宅、19時：夕食、20時：課題と明日の準備、21時：入浴、22時：自由時間、23時：就寝</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>「頑張っって何かやろう」と堅くなりすぎないでください。言葉も文化も違う場所で学生が生活していくことはかなり大変なことです。慣れないうちは、体力的にも精神的にもかなり疲れます。実際私は来て間もないころ、夜は倒れるように寝ていました。自分が意識している以上に気を張っていたんだと思います。初めから何でも頑張ろうとせず、生活するうちに少しずつできることを増やしていくことが大切です。留学中は生活しているだけでも勉強になることがたくさんあります。慣れていくうちに視野が広がり、自然とやりたいことが見えてくると思います。あと、何か不安なことがあれば誰かに連絡するようにしましょう。日本や留学先の友達、親、明治大学の事務室、誰でもいいです。タイでは3月から緊急事態宣言が出て、それ以降ずっと一人で部屋にいました。周りの状況やこれから自分がどうすべきなのかわからず、不安で夜に寝られない日が続きました。その期間、親とは毎日連絡を取るようになっていました。逐一、タイの状況や自分の状態、不安な気持ちを伝えていました。海外では予想できないことが起こります。困ったことがあれば、周りの人に相談してください。長くなりましたが、私の経験が何かみなさんの役に立てば嬉しいです。</p>



緊急事態宣言下での商業施設の様子



友達の家族と昼食



出版社見学の様子



友達とカフェ